

香川大学学長候補者の選考結果の公表について

1 学長候補者の氏名

笥 善 行 氏

2 任 期

令和3年10月1日から令和5年9月30日まで

3 選考理由

学長選考会議は、学長候補適任者に対して面接を行い、所信を聴取し、意向聴取の結果を参考として決定した。

笥氏は、平成29年10月に学長に就任して以来、経営・教学の最高責任者としてリーダーシップを発揮し、教育においてはDRI（注）教育の全学展開を、研究においては「産」及び「官」との連携推進を、組織運営においては学長戦略室の機能再編や事務組織の再編を行うなど、香川大学の教育研究及び組織運営の充実を図るとともに、令和4年度の創発科学研究科（仮称）の設置に向けて尽力するなど、着実に取り組んでいることを確認した。

また、地方国立大学を取り巻く厳しい状況が続くなか、第4期中期目標・中期計画の策定・実施という重大な時期を迎えるにあたり、笥氏は、香川大学の将来像を見据え、具体的で明確なビジョンが示されており、これまでの4年間で築いてきた実績や行動力等に鑑み、学長として再任後の2年間においても、持てる手腕を十分発揮することにより、香川大学の更なる発展が期待されるものと判断した。

（注）DRIとは、次のとおり。

Design thinking：イノベーションを創出する「デザイン思考」

Risk management：レジリエンスやセキュリティ等に資する「リスクマネジメント」

Informatics：専門分野を超えた「インフォマティクス」

4 選考経過

（1）令和3年1月4日（月）

学長選考会議は、学長候補者選考日程の決定及び学長選考について公示した。

（2）令和3年2月10日（水）

学長選考会議は、意向聴取等管理委員会を設置した。

（3）令和3年2月12日（金）

学長選考会議は、学内推薦資格者（大学法人の役員及び教職員）からの被推薦者の推薦について公示し、推薦資格者へ通知するとともに、経営協議会学外委員へ被推薦者の推薦について依頼した。

(4) 令和3年4月19日（月）

学長選考会議は、学内推薦資格者からの被推薦者である、寛善行氏（国立大学法人香川大学長）を学長候補適任者として選定し公表、令和3年4月19日に意向聴取等管理委員会へ通知した。なお、学外委員からの被推薦者の推薦はなかった。

(5) 令和3年5月11日（火）

意向聴取等管理委員会は、意向聴取の実施について、投票日時、場所及び学長候補適任者1名を公示し、投票資格者へ通知した。

(6) 令和3年5月26日（水）

1名の学長候補適任者について、投票資格者514名により意向聴取投票が行われた。

投票資格者数	514名
投票者数	328名
有効投票数	320票
（うち白票数	35票）
無効投票数	8票
投票率	63.8%
（得票数）	
寛 善行	285票

(7) 令和3年5月27日（木）

学長選考会議は、学長候補適任者に対して面接を行い、所信を聴取した上で、意向聴取の結果を参考として、学長候補者を決定し、公示を行った。

令和3年5月27日

国立大学法人香川大学学長選考会議